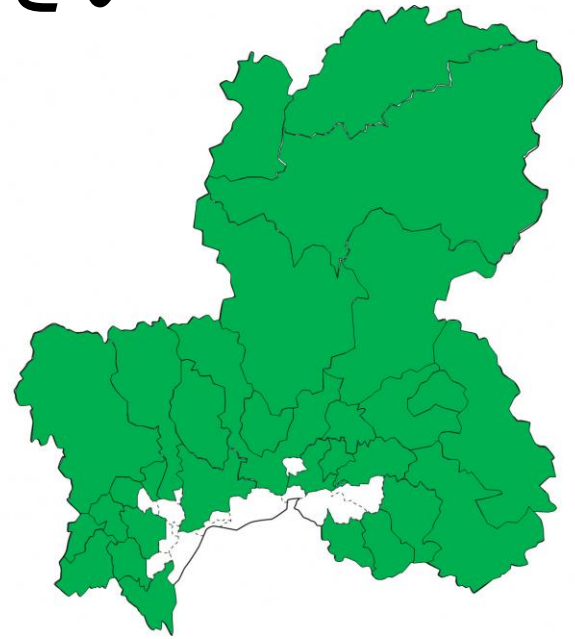


箱罾によるツキノワグマの混獲にご注意ください

岐阜県には、ほぼ全域にツキノワグマが生息しています。

ツキノワグマが箱罾にかかると非常に危険であり、箱罾の破損により経済的な損失も大きくなります。

岐阜県では、4月～11月の期間に主にニホンジカ、イノシシに対する被害防止捕獲においてツキノワグマの混獲が報告されていますが、猟期においても混獲が発生する危険性があります。



平成19年～令和4年度までにツキノワグマの出没が確認された市町村

混獲されたツキノワグマの危険性



ツキノワグマが混獲されると箱罾の歪みや不具合が生じて捕獲個体が脱出し、事故が発生する危険性があります。

子グマが箱罾に混獲された場合は、子グマを守ろうとして攻撃的になった母グマが罾周辺を徘徊するため、非常に危険です。

クマ類では、子グマに興味をもった雄グマが子グマのかかった箱罾を破壊しようとする行動が確認されており、子グマが罾にかかることによって大型個体を誘引する危険性もあります。

岐阜県では、混獲したツキノワグマを放獣する際の事故も発生しており、混獲は多くの場面で高い危険性を有しています。

混獲を回避するには

ツキノワグマの混獲を避けるには以下のような方法があります。安全の確保及びニホンジカ・イノシシの効率的な捕獲のために、ご協力をお願いします。

足跡確認後の の トリガー設置

イノシシの足跡が罠に入っていることを確認してからトリガー（罠の作動部）を掛けましょう。ツキノワグマの足跡を確認したら、罠かけと餌の補充を中止しましょう。

餌の選択

餌には米ぬかを使いましょう。稲に被害を出すイノシシに対しては米ぬかの誘引効果が高いことが考えられます。果物や酒、ハチミツのような餌は避けましょう。

くくり罠への 変更

ニホンジカ・イノシシの圃場への侵入ルートが明確な場合はくくり罠を選択することも有効です。（ただし、ニホンカモシカが見られる地域では、ニホンカモシカを混獲する恐れがあるため、避けましょう。）



ニホンジカの足跡



イノシシの足跡



ツキノワグマの足跡

混獲してしまったら

狩猟等で個人の責任において放獣する場合は、安全の確保された車内等から、ロープや滑車等を使ってロックと扉を引き上げるなど、十分に安全に配慮した形で行いましょう。

少しでも安全面に不安がある場合や、子グマが混獲されているのを確認した場合は、市町村の担当者に連絡してください。

混獲の有無に関わらず、箱罠はできるだけ人の通らない場所に設置し、捕獲の有無はできるだけ遠くで観察しましょう。